

1 [タイトル]
マイタケエキスによる
アポトーシス作用

○中村智子

[目的]

抗ホルモン型の前立腺ガンに対しより効果が期待できる治療法を探求する目的でマイタケ抽出エキス（グリフロン・D-フラクション=GDという）の前立腺ガンに対する抗腫瘍効果を試験管内で実験した。

[方法]

ヒト前立腺ガン細胞PC-3をいくつかの濃度に分けたGDで処理し、細胞の生存を24時間後に測定した。

[成績]

用量反応テストでは、GD濃度が480 $\mu\text{g}/\text{ml}$ で自ら全てのガン細胞が24時間後に死滅した。さらに30~60 $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度のGDと200 μM のビタミンCを併用すると、90%以上のガン細胞の死滅を誘発した。

GDで処理された細胞のLPO値が、ISH反応陽性のまま、かなり（50%以上）上昇した点は細胞核壁の酸化、つまりガン細胞のアポトーシス死滅を示唆している。

[結論]

マイタケより抽出した活性ベータ・グルカンの複合成分、グリフロン・D-フラクション（GD）は、試験管内において、前立腺癌細胞の酸化を促し、アポトーシス作用を引き起こす効果を示唆した。

また、GDとビタミンCとの併用、及びカルマスチン（carmastine）併用によるGDの化学療法剤感受性増強効果にも、臨床での実用性が示唆される。従って、この特殊なキノコの抽出エキスは、前立腺癌の代替療法の1つとして、大いに期待できるものと思われる。